

# CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神戸市第二学校給食センター整備・運営事業(新築工)	階数	地上2F
建設地	神戸市西区見津が丘7丁目12番	構造	S造
用途地域	宅地造成工事規制区域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,700時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年11月 予定	評価の実施日	2024年9月27日
敷地面積	15,411 m <sup>2</sup>	作成者	今西良一
建築面積	5,108 m <sup>2</sup>	確認日	2024年9月27日
延床面積	6,311 m <sup>2</sup>	確認者	今西良一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 3.2**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.8**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.7

3 CASBEE神戸の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 <p style="text-align: right;">3.0</p>	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 <p style="text-align: right;">3.8</p> Q-2/2.4 信頼性 <p style="text-align: right;">3.6</p>	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 <p style="text-align: right;">3.0</p>
<b>配慮の概要</b> バリアフリーに配慮した昇降機、多目的便所、庇つき身障者駐車スペースを玄関付近に確保している。	<b>配慮の概要</b> 鉄骨造とし、構造体の耐震性能は耐震安全性の分類Ⅱ類(重要度係数I=1.25(保有水平耐力の割増し)を採用し、大地震後に構造体に大きな補修をすることなく、建物を使用できることを目標としている。	<b>配慮の概要</b> 緑地環境を充実させ、子供たちが好きな[食]に関するイメージを誘発する色彩を採用している。
<b>その他の配慮事項</b> 段ボール・紙類は再生紙、廃油はエコ石けんの原材料としてリサイクルを行う。給食調理の際に発生する生ゴミや給食の食べ残しは専用機械で脱水し、廃棄物の削減に配慮する。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

**CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)**  
 (仮称)神戸市第二学校給食センター整備・運営事業(新築工事)

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.30</b>			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.6</b>	0.15	-	-	<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 遮音						<b>2.2</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						<b>3.0</b>	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能						<b>1.0</b>	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.1</b>	0.35	-	-	<b>3.1</b>
2.1 室温制御						<b>3.3</b>	0.50	-	-	
1 室温						<b>3.0</b>	0.38	-	-	
2 外皮性能						<b>3.0</b>	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		マルチパッケージ型空調機によりゾーン別制御をする計画				<b>4.0</b>	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光率						<b>3.0</b>	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光制御						<b>3.0</b>	1.00	-	-	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.5</b>	0.25	-	-	<b>3.5</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装材・塗装は全てF☆☆☆☆としている				<b>4.0</b>	1.00	-	-	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
2 自然換気性能						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.8</b>	0.40	-	-	<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.6</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		一人あたりの執務スペースを12㎡以上としている。				<b>5.0</b>	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						<b>3.0</b>	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		食堂・休憩室を男女別にそれぞれ設けている。				<b>5.0</b>	0.33	-	-	
3 内装計画		学校給食の衛生管理に適した材料の中から選定している				<b>4.0</b>	0.33	-	-	
1.3 維持管理						<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装仕上げ材は防汚性の高い仕上、建材を採用している。				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		廃棄物等の収納スペースを十分に確保し、搬出も用意している。				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.8</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法の25%増しの耐震性を有する。				<b>4.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.2</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		長寿を考慮した材料を選択している。				<b>4.0</b>	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		空調換気ダクトの長寿化を図っている。				<b>4.0</b>	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>3.6</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		熱源の二重化を行い、吊り配管を採用している				<b>4.0</b>	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用し、受水槽に蛇口を設置している。				<b>4.0</b>	0.20	-	-	
3 電気設備						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		ネットワーク機器用に無停電装置を設けている。				<b>4.0</b>	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.8</b>	0.30	-	-	<b>3.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.2</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高が3.9m以上としている。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		積載荷重を3500N/m <sup>2</sup> 以上4500N/m <sup>2</sup> としている。	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	配管ピットを設け、構造部材を傷めることなく修繕・更新できる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応した仮設スペースを確保し、建物機能を維持	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>2.0</b>	0.20	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		トップライトを採用している	<b>4.0</b>	0.10	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 設備システムの効率化</b>		[BEI][BEIm] = -	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>4.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	用途別エネルギー消費の内訳を把握し消費特製の傾向・分析を行い妥当性が確認できる	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	建物全体のエネルギー消費量の目標値を計画し、建築主に提出している	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
<b>1.1 節水</b>		節水コマ、節水型の厨房器具を採用している	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	ボイラーの還水を再利用している	4.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		ビニール系床材、壁紙、ボード(天井仕上)	5.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.20	-	-	<b>3.6</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		接着剤、シーリング材で有害物質を含まない材料を採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.7</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率:51%	<b>4.9</b>	0.33	-	-	<b>4.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.3</b>	0.33	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>4.2</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	埋設型排水処理施設により排水基準をクリアしている	4.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	従業員の車通勤は原則禁止、入場・退場の位置を確認している	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	残渣処理(生ゴミ粉碎・脱水)する設備により少量化を図っている	5.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの一部を満たし、広告物照明を	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	